

2. 看護局

[平成 22 年度の方針(病院)]

病院改革プランの実施・目標値の達成

ビジョン・・・つながりが共感できる病院になる

－医療において、地域において、1 つの組織において－

[平成 22 年度 看護局の目標]

<重点目標>

セクショナリズムを捨て、お互い協力できる看護局をめざそう

フィッシュ哲学の実践

1. 看護の質の向上

1) 急性期病院における看護方式の検討・見直し

2) 役割分担の推進

①看護師の役割・看護師以外で出来る役割両面の検討

②看護助手(看護局移行に伴う)の体制検討

③21 年度の継続検討(検査科・薬剤科)

*薬剤部への移行・・・薬剤ミキシング

2. 人材育成

1) 新人ガイドラインに沿った新人教育

①理念：全職員が新人に感心を持ち皆で育てるという組織文化の熟成

②教育担当者の育成

2) S-Que 院内研修をとおりいれたポイント制の教育実施

①計画的な人材育成と無理のない教育

3. 経営参画

1) 病院改革プランの実施(22 年～24 年末まで)

①病床稼働率の上昇(92%)と協力

2) リネン使用量の工夫

3) 独立行政法人化の準備(23 年)

4) 電子カルテへの準備

働きやすい環境づくり・・・二交替制については、スタッフの声が高まった段階で考えます。

《概要》

4 月 1 日

甲斐副看護局長が地域医療副センター長兼任のためフィールドを看護管理室から地域へ。

今年度から新人看護職員研修ガイドラインに沿った研修を行うため、鈴木師長を教育担当責任者で辞令発令し、ICU師長兼任とした。また、看護助手が当院採用(非常勤職員)として看護局所属となった。

4月1日昇任

西出あや子(副看護師長からNICU/GCU看護師長)・川西史子(副看護師長から感染症センター看護師長)・林美穂(副看護師長から7海看護師長代行)・松本由美(副看護師長から6海看護師長代行)・4名の副師長昇格(射手矢奈津子・久保美紀・竹下圭介・清田智子)・認定看護師として活躍中の5名(川西史子・濱野利江子・川島孝太・藤原由子・森沙苗)は急性期ケア推進室兼任とした。

看護師採用：正職30名・非常勤1名の新採用者31名(内、新採用者15名・既卒者16名)
4月1日看護職員数342人(内訳 正職283名・非常勤28名・臨時31名) 看護助手33名。

看護補助加算2(50:1)取得

GCUは6床休床(医師・看護師不足)で、スタートする。

看護教育は厚生労働省通達の「新人看護職員研修ガイドライン」に沿って実施。また、他施設に呼びかけ、佐野記念病院・永山病院・野上病院などの新人看護師を受け入れる。

また、今年度より、看護教育に S-Que 院内研修(衛生放送とオンデマンド研修をあわせ自分個々のパスワードでいつでも受けることが出来るシステム)を取り入れる。

5月11日 新副師長研修実施

5月13日 りんくう救急診療センター発足委員会が出来る(委員長：泉州救命松岡センター長)

5月17日～7月初旬 22年度 BSCヒアリング開始(看護局は7月6日)

5月29日 看護師採用合同説明会(京セラドーム)看護管理室3名+ICU大西+総務3名参加

6月1日 薬剤科での注射ミキシング試行開始(8海から)

6月1日 川西師長を感染の専従とし、感染防止対策加算の取得
看護助手1名増員 34人

6月14日 2階Eブロックを拡張し(10ベッド)外来化学療法センター・3階Hブロックを採血室としてレイアウト変更し運用開始

6月10日～7月24日 看護師募集 学校訪問9校

6月29日 診療部のBSC発表会

7月9日・13日・16日 独立行政法人移行の説明会3回

7月13日 ストマ外来開始(火/週1回 午後から30分7枠)皮膚・排泄認定看護師高橋担当

7月20日～9月1日 看護協会セカンドレベル(鈴木師長受講)

7月24日 看護師採用合同説明会(京セラドーム)看護管理室3名+総務3名参加

7月30日 コ・メディアカルBSC発表会

8月1日 役割分担の推進 薬剤科の注射ミキシング全病棟開始

8月6日～11月12日 看護協会ファーストレベル(濱師長受講)

8月22日 23年度、採用試験実施(救命救急と合同で実施)

8月23日～9月21日 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師実習施設として始めて2名を受け入れる(5海)

8月26日～院内エキスパート6コース研修開始(感染管理コース・循環コース・呼吸コース・救急コース・創傷コース・がん緩和ケアコース)

11月1日 保健所監査

11月16日～5日間 新人看護職員研修責任者研修受講(鈴木教育責任者)

- 12月3日 育児改正法(6月30日)を受けての当院の育児短時間勤務および部分休業についての周知文
- 12月28日 臨時師長会「救急診療体制に整備に関する救命センターからの提案」について
23年
- 1月11日～2月10日 感染管理認定看護師実習施設として2回目3名を受け入れる。
川西感染認定看護師中心。
- 1月11日～2月17日 看護協会ファーストレベル(西出師長受講)
- 3月2日 副看護師長試験行なわれ、5名(8M西村、大竹・7山壽慶・ICU中村・6山東山)搭載。
- 3月29日 院内エキスパートコース(感染管理)2名の発表後、認定(8山船戸・7海久保)

[平成22年度のまとめ]

22年度 看護局の目標の<重点目標>はセクショナリズムを捨て、お互い協力できる看護局をめざそう-フィッシュ哲学の実践-でした。おのおのの部署で、工夫しながら様々な取り組みを行いました。結果、各部門が協力的に応援体制が取れるようになりました。たとえば朝、応援に出ることが出来る人員の連絡により、副看護局長が調整。また、数時間の空時間においても連絡があり、それに応じて看護師が自部署のみならず、他部署に積極的に応援に行く体制が出来た。特に、外来は救急患者がいない時間や、早朝の採血・食事介助等は定着してきた。

1. 看護の質の向上

1) 急性期病院における看護方式の検討・見直し

師長学習会に取り入れ、学習とグループワークを行い自部署の看護方式・体制を見直す機会になった。

2) 役割分担の推進

薬剤部への薬剤ミキシングの移行は順調に計画通りできた。特定の病棟試行後6月本格実施したが、大きなトラブルなく現在に至っている。次年度は評価が必要。今後は、特定の病棟の薬剤のオーダー等の処方に取り組む予定。7山においては、心臓リハビリテーションは看護師とリハビリの協力で順調に進んでいる。看護助手に関しては、今後変則時間勤務や夜勤等の導入を視野に病棟の聞き取りを行い次年度に導入予定。

2. 人材育成

1) 新人ガイドラインに沿った新人教育

理念の全職員が新人に感心を持ち皆で育てるという組織文化の熟成は、教育委員会および実習指導者会で行い、当院への学生の就職率も上がった。また、教育責任者(兼任)をおき、今年度近隣の病院に声をかけ部分の研修を当院と3病院合同で(野上病院・佐野記念・永山病院)おこなった。結果、近隣からも良い評価を頂いた。教育者の育成においては、看護協会主催の新人職員教育養成研修(鈴木教育担当者兼ICU師長)と新人担当者研修(田中看護師長)を研修に出し、新人ガイドラインに沿った新人教育の土台作りを行なった。

2) S-Que 院内研修をとiriいれたポイント制の教育実施

計画的な人材育成と無理のない教育を考え、職場でも自宅でもいつでも自分が学習したい時間に学習できるように院内S-Que を取り入れた。また、ジェネラリスト教育において学習する毎に点数を加算しポイントが一定以上達すると個人に賞状を渡すシステムを作った。30名が10ポイン

ト、13名が20ポイント、4名が30ポイント達成した。最高35ポイントだった。SQ研修受講(全看護職員対象)は696件数で受講率は8%であった。モチベーションアップには繋がった。

3. 経営参画

1) 病院改革プランの実施で病床稼働率の上昇(92%)と協力をあげていたが、看護だけでは難しい現状もあり、病床稼働率は82.4%であった。

リネン使用量の工夫に関しては、病棟で統一できるところは統一し、部署一丸で取り組んだ結果、27.05%の削減に成功し年間の金額に換算すると271,530円の減少に繋がった。

独立行政法人化の準備、電子カルテへの準備にも積極的に参画した。

看護職員の状況

(1) 採用者・退職者数

(人)

職種	採用者数		職種別採用者数						退職者数		職種別退職者数					
	内訳		助産師		看護師		准看護師				助産師		看護師		准看護師	
			正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職			正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職
年度	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職
22	36	18	1	1	34	12	1	5	41	24	5	2	36	17	0	5

(2) 新規採用者状況 (雇用条件変更による再雇用を含まない)

(人)

年度	総計	看護師					助産師	准看護師
		看護大学	看護短大	3年課程	2年課程	通信制		
22	54	2	2	36	8	1	3	2

(3) 職種別在職年数

平成22年4月1日現在 (年)

職種	0~3		4~5		6~7		8~10		11~19		20~29		30~		平均	
	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	合計	正職	臨職
看護師長	1	0	1	0	1	0	2	0	9	0	2	0	0	16	16.1	0
副看護師長	5	0	2	0	0	0	5	0	8	1	4	0	0	25	12.9	13
助産師	12	1	1	1	4	0	0	0	3	0	0	0	1	23	5.4	3
看護	116	22	29	10	19	1	23	5	27	4	5	0	2	263	5.1	4.3
准看護師	0	11	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	15	25	3.5
合計人数	134	34	33	11	24	1	30	7	47	5	12	1	3	342	6.2	4.2
(%)	39.2%	9.9%	9.6%	3.2%	7.0%	0.3%	8.8%	2.0%	13.7%	1.5%	3.5%	0.3%	0.9%		平均	5.9

(4) 年齢構成

平成22年4月1日現在 (人)

職種	20~29		30~39		40~49		50~54		55~		合計		平均年齢	
	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職
看護師長	0	0	1	0	12	0	3	0	0	0	16	0	44.2	0
副看護師長	0	0	10	0	12	0	1	1	1	0	24	1	40.6	51
助産師	2	0	10	1	7	1	2	0	0	0	21	2	37.7	39.5
看護	93	6	90	21	34	10	2	2	2	3	221	42	32.3	38.1
准看護師	0	1	0	5	1	6	0	1	0	1	1	14	49.0	40.3
合計	95	7	111	27	66	17	8	4	3	4	283	59		

合計 342

(5) 退職理由

(人)

結婚		妊娠・出産・育児		親の介護		健康上の問題		適正・能力・不安		帰郷		転居	
正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職
3	1	2	1	2	1	3	6	3	3	0	0	2	1
進学		人間関係		他施設へ		契約終了		雇用条件変更		その他		合計	
正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職	正職	臨職
0	0	2	0	11	4	1	3	2	2	12	4	43	26

(6) その他

(人)

出産者数	育休	看護休暇
10	7	0

※育休は今年度中に育児休暇に入った人数

(7) 看護助手

年度	採用	退職
22	5	3

※今年度より委託から病院雇用となる

《実績》

1. 平成22年度看護部の委員会活動状況

委員会名	目的	計画	活動内容
副看護師長会	師長補佐業務と共に、実際の職場教育の諸問題を取りあげ、連絡を深めて看護業務の向上に推進していく	災害発生時に備え、マニュアルに沿った災害初期対応をスタッフ全員が行動できるように管理者として日常における防災活動計画を実施し実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署の防災に関する問題点を抽出 ・現行のマニュアルを参考に災害マニュアルの作成 ・平常時点検の実施 ・防災訓練の実施
教育委員会	看護師の質的向上を図るために市立泉佐野病院看護部の理念に応じた人材育成と看護の質の向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・STEP研修のOJTの修正、実行 ・各部署の教育の充実 ・目標にあわせた講演会の開催 ・急性期ケア推進室との連携 ・基礎教育後の教育枠組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・STEP1のチェックリストの評価方法改定 ・STEP2研修内容の変更 ・OJTの問題点・進捗状況報告 ・講演会「クレーム対応の基本から学ぶコミュニケーションのポイント」の運営 ・ジェネラリストのポイント制、S=SUE研修の導入
記録・看護基準・手順委員会	提供する看護の質を保證するとともに、業務の安全性と活用化のために、実践に即した充分活用できるものを作成・改定していく	<ul style="list-style-type: none"> ・看護手順の削減・追加 ・電子カルテ導入に向けての用語の統一 ・カルテ記載漏れ0 ・委員がデータベースから看護診断立案までの過程を理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通手順(SBチューブ挿入中の管理、皮下埋め込み式ポート、透析施行前後の手順、PSP試験、身長、体重、創傷処置、低圧持続吸引器および吸入、シリンジ採血、経管栄養法、PEG)の改定 ・標準用語の決定 ・記録の機会監査
臨床実習指導者会	看護学校の教育計画に基づき、充実した臨地実習をするために、学校との連絡を密にし、指導内容を検討する。また、指導上の問題を明確化し、解決できるように検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケートから実習指導の問題点を明確にし解決する。 ・指導の振り返り、学生が自己の課題が達成できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習についての講義 ・学校との調整会議 ・学生アンケート結果の情報共有 ・アンケート内容の部分修正 ・自己課題の記載内容への指導ポイントも明文化
安全推進者委員会	医療事故をなくすために、日常看護業務全般の見直しと改善策に対する看護職員の意識を高める教育活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒転落アセスメントシート修正、家族への説明書作成 ・インスリンスケール表の再検討によりインスリンに関するインシデントの減少を図る ・内服業務の分析、改善策の立案 ・各部署の問題点の検討 ・安全推進者の役割が意識した活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートの修正、患者家族へのリーフレット作成 ・スケール表の修正案の検討、改定 ・与薬時のダブルチェック方法の検討を行い、内服業務のマニュアルを作成 ・部署内の問題点の検討内容終了した指示について 注入食のインシデントについて インシデントレポートの取り扱いについて 未来指示について
褥瘡・NST委員会	医療の質向上を目指し、栄養サポートを推進するための活動チームと、褥瘡委員会の活動が円滑に運営できるように看護部門の問題を検討すると共に、褥瘡及び栄養に関する看護の役割が実践できるように各職場に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・NST活動で看護師の役割を明確にする。 ・濃厚流動食の種類と選択についてのマニュアル化 ・入院患者の栄養状態評価の徹底 ・栄養管理に関する記録の充実 ・褥瘡回診におけるリンクナースの役割の明文化 ・褥瘡データベース入力のおよび評価の徹底 ・ウレタンマットの評価 ・学習会の運営 ・褥瘡・NST回診の参加 ・委員の褥瘡・NSTに関連した知識と技術の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンガルーポンプの使用方法のマニュアル作成 ・下痢に対するマニュアル(案)作成 ・栄養評価、褥瘡評価の徹底への働きかけ ・皮膚統合性障害の標準看護計画の修正 ・高ウレタンマットの使用状況の把握 ・学習会の開催4回

委員会名	目的	計画	活動内容
看護研究委員会	看護師として必要な研究態度を養い、看護研究が出来る基礎的能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> 研究者の研究進度を掌握し、倫理的な研究が行われるよう研究の支援を行う 研究の進捗を掌握し、発表が円滑にできる 良い研究だと推奨できるものを探り、院内で優秀であると認定できるような取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸事情によって研究がスムーズに進まない部署は事例研究に変更し、学習会・指導方法・評価方法を委員が学び指導にあたった。 看護研究マニュアル「看護研究倫理審査について」改定 看護研究委員会活動マニュアル作成 看護研究発表会運営 看護研究査定基準の作成

2. 院内教育

1) 対象者別研修 (看護師)

対象	テーマ	方法	実施日	対象者
新規採用者	りんくう医療センターの概要	講義	4/1	31
	医療の方向性と当院の現状	講義	4/1	31
	看護部の概要	講義	4/1	31
	服務規程	講義	4/1	31
	現任教育	講義	4/2	32
	NEC 操作研修	講義・演習	4/2	32
	災害	セフティペア見学・体験	4/2	32
	防災	講義	4/2	32
	患者相談	講義	4/2	32
	褥瘡・NST	講義	4/5	32
	物品管理	講義	4/5	32
	接遇	講義	4/5	38
	人権教育	講義	4/5	32
	人権推進	講義	4/5	32
	感染予防	講義・演習	4/9	38
	個人情報保護法	講義・ビデオ	4/9	32
	看護記録	講義	4/9	22
	医療安全	講義	4/9	32
	治験	講義	4/9	32
	薬剤の安全管理	講義	4/16	32
	医療機器の安全管理	講義	4/16	32
	安全研修(他部門)	講義	4/16	32
	保険診療	講義	4/23	32
インフォームドコンセント	講義	4/23	38	
看護必要度	講義	4/30	36	
緩和ケア	講義	4/30	22	
STEP1	基礎教育	講義	4/5	16
	看護技術(採血・皮下・筋肉・インスリン注射、吸引)	講義・デモンストレーション	4/16	16
	輸液ポンプ	講義・デモンストレーション	4/23	16+2
	看護技術(静脈注射)	講義・デモンストレーション	4/23	16+2
	看護技術(移動・ボディメカニクス・経管栄養)	講義・デモンストレーション	4/30	16
	1ヶ月のまとめ	グループワーク	4/30	16
	安全演習	演習	5/14	16
	急変時の対応	講義・デモンストレーション	5/28	16+5
	成長するために必要な姿勢	グループワーク・事例検討	6/22	16
	one for all ,all for one	講義 ゲーム型トレーニング	10/15	16
	静脈注射Ⅱ	講義、演習	11/8	16
	フィジカルアセスメント呼吸、循環	講義、演習	3/18	14
	まとめの研修と課題「発表 私の課題」	レポート発表	3/18	13

対象	テーマ	方法	実施日	対象者
STEP2	看護過程とは	講義、グループワーク	5/21	21
	静脈注射Ⅱ	講義、演習	6/14	21
	ケースレポート報告	発表・聴講	9/28	19
	フィジカルアセスメント	講義・演習	10/26	19+5
	ICU・OP研修	実習	11月～1月	19
	受け持ち看護師になれたかな	グループワーク	2/18	19
STEP3	リーダーシップとは	講義、グループワーク	6/24	15
	リーダー業務とは	グループワーク	10/29	11
	私の看護観	発表・聴講	1/21	11
	プリセプターとは	講義	3/24	19
プリセプター	プリセプター情報交換とコミュニケーション技法	グループワーク・講義	6/18	14
	プリセプター情報交換とコーチング	グループワーク・講義	9/17	14
	まとめの研修	グループワーク(バズセッション)	2/22	14
全体	コミュニケーションスキルを高める	講演会	11/19	103

(看護管理者)

新任副師長	副看護師長の役割 病床管理 人材育成 医療安全	講義	4/27	3名
-------	----------------------------------	----	------	----

(看護助手)

テーマ	方法	実施日	対象者
患者搬送	講義・演習	7/22	29
院内感染	講義	9/25	30
医療安全	講義・演習	12/17	32
ボディメカニクス	講義・演習	1/14	32

3. 院外教育

1) 看護協会主催 研修

主催	講習・研修会名	期間	回数	開催地	受講人数
大阪府看護協会	大阪府主催短期研修	4/1-3/31	31	大阪府看護協会	47
大阪府看護協会	認定看護管理者教育 ファーストレベル	8/6-11/12 1/11-2/16	2	大阪府看護協会	2
大阪府看護協会	認定看護管理者教育 セカンドレベル	7/20-9/1	1	大阪府看護協会	1

2) その他の研修

主催	講習・研修会名	期間	回数	開催地	受講人数
国立がん研究センター	相談支援センター相談員支援基礎研修会Ⅰ	4/26-4/27	1	東京	1
国立がん研究センター	緩和ケア研修会	8/6-8/7	1	北海道	1

3) 認定看護師研修

主催	講習・研修会名	期間	回数	開催地	受講人数
日本看護協会	感染管理		1	神戸	1

*個人の理由で中断

4) 認定看護師学会参加

学会名	期間	回数	開催地	受講人数
日本クリティカル看護学学会	7/16-7/17	1	北海道	2
日本糖尿病教育・看護学会	10/10-10/11	1	東京	1
日本癌治療学会	10/28-10/29	1	京都	1
日本救急看護学会	10/29-10/30	1	東京	1
日本看護科学学会	11/-11/28	1	千葉	1
日本感染症学会	11/18-11/19	1	京都	1
日本ストマ排泄リハビリテーション学会	2/4-2/5	1	京都	1

4. 研修生受け入れ

1) 看護専門学校学生実習受入

学校名	学年	期間	延べ人数	実習場所
関西医療大学保健看護学部保健看護学科	1年生	12/20-12/22	30(10)	6海・8山
	2年生	2/28-3/9	80(10)	7海・7山
泉佐野泉南医師会看護専門学校	1年生	12/6-12/14	126(21)	5海・7海・7山・8山
	2年生	1/11-2/17	520(20)	5海・7海・7山・8山
	3年生	5/6-12/2	1608(36)	全部署
岸和田市医師会看護専門学校	3年生	5/10-10/1	180(18)	6山・外来
久米田看護専門学校	3年生	11/28-12/16	48(4)	6山
和歌山看護専門学校(通信制)	1年生	3/8-3/9	8	5海・8海
	2年生	8/5-8/6	18(3)	6山・6海・7海
		8/10-8/13 8/19-8/20		
東亜看護専門学院(通信制)	1年生	10/4-10/7	8(4)	8海・7海
	2年生	8/2-8/30	32(4)	5海・6海・6山・8山・外来
麻生看護医療専門学校(通信制)	2年生	6/15-6/16 11/25-11/26	4(2)	6山・6海

2) 助産師・養護教員

学校名	学年	期間	延べ人数	実習場所
大阪大学医学部保健学科	1年生	11/15-12-10	19(1)	6山

3) 大学院生実習受入れ

学校名	学年	期間	延べ人数	実習場所
大阪府看護大学大学院	1年生 (CNSコース)	8/9-8/26	12(1)	CNSの院内の活動
東京医科歯科大学大学院	1年生 (CNSコース)	9/16-9/17	4(2)	CNSの院内の活動
	2年生 (CNSコース)	8/4-8/5	4(2)	CNSの院内の活動
神戸市看護大学大学院	2年生 (CNSコース)	11/8-11/19 11/8-11/12	15(2)	CNSの院内の活動
山梨県立大学大学院	1年生 (CNSコース)	1/17-1/18	4(2)	CNSの院内の活動
	2年生 (CNSコース)	3/7-3/11	10(2)	CNSの院内の活動

4) 認定看護師教育実習受け入れ

領域	期間	延べ人数	実習場所
感染管理	1/11-2/10	69(3)	全部署
脳卒中リハビリテーション看護	8/23-9/24	40(2)	5海

5) 新人研修

施設名	期間	延べ人数	内容
佐野記念病院	4/5	6	接遇
	4/9	6	感染予防
	4/23	6	静脈注射 I
	11/8	6	静脈注射 II
永山病院	4/30	10	看護必要度
野上病院	5/28	3	急変時の看護

6) 病院見学

施設名	期間	人数	内容
阪南市立病院	9月	1	心臓カテーテル治療
玉井整形外科内科病院	11/8	2	手術室看護

7) その他

学校名	内容	期間	延べ人数	実習場所
泉佐野市立佐野中学校 2年生	職業体験	8/25	5(5×1日)	外来・6山・8山
泉佐野市立長南中学校	職業体験	11/10~11/12	3(1×3日)	外来・6山・6海
泉佐野市立第三中学校	職業体験	11/16~11/17	4(2×2日)	6山・6海
大阪府立佐野高等学校	看護体験	8/2	10	6山・7海・7山・8海・8山
看護協会	ふれあい看護体験	5/19	4	7山・8海

5. ストーマ外来

平成21年7月13日より当院でストーマ(コロストミーとイレオストミー)を造設された患者を対象に退院後も安心して日常生活を送り、ストーマ造設前の生活を目指し、それを維持するための個別的な専門的なケアの提供を目的にストーマ外来を開設した。8月よりウロストミーを造設された患者に対しても同様にストーマ外来を受診できる体制を整えた。毎週火曜日午後より外来を開始しその結果、外来を受診された患者は144名であった。平成22年1月より地域連携室との協力し、他院でストーマ造設された患者が受診できる体制を整え他院から3名の紹介があった。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診患者数	9	10	13	12	15	17	19	23	26	144
消化器系	9	9	12	12	13	15	16	21	24	131
泌尿器科系	0	1	1	0	2	2	3	2	2	13
紹介患者	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3

《業績》

1) 院内研究発表

部署	テーマ	発表者
NICU/GCU	NICU/GCU退院後の育児不安の軽減を目指して ～退院指導の検討・改善を行って～	川嶋歩
ICU/CCU	ICU/CCU待機中の患者家族の不安軽減への取り組み ～家族のニーズをふまえたパンフレットを用いて～	重野公美
8山病棟	血液透析導入患者に対するパンフレットによる指導の効果	久保仁志
放射線科	全身にドレープを覆い意識下で治療を受ける対象者の苦痛の現状調査	松本雅弘
6山病棟	当院における妊産婦の体重増加と出生体重・分娩への影響 ～当院過去の10年間の助産の調査から～	水主洋子
外来	当院かかりつけ患者の診療時間外における電話相談内容調査	新垣智子
7山病棟	心不全患者が再入院に至る原因とその因子	沖真梨名
手術室	手術室入室時間における申し送り時間短縮への取り組みとその評価	松本多恵子
5海病棟	大腿骨頸部骨折により牽引中の患者に対するせん妄予防のプログラム	中西佳奈
6海病棟	絵本を用いたプレパレーションの効果を検証して ～患者の対処行動能力を引き出すかかわり～	上島孝江
7海病棟	頭部頸部癌患者の苦痛緩和を目指した口腔ケアの効果	富田啓子
8海病棟	術後疼痛管理-PCA機能を用いた術後疼痛緩和の評価	高木良子

2) 院外発表

学会名	月日	発表者	所属部署名	テーマ
日本新生児看護学会	11月6日-7日	松川めぐみ	NICU	カンガルーケアの定着と阻害する因子の調査
日本クリニカルパス学会	12月3日-4日	沖真梨名	7階山側病棟	CAG/PCIクリニカルパス改訂後の評価と今後の課題

3) シンポジスト・パネルディスカッション

学会名	月日	発表者	所属部署名	テーマ
日本看護協会 成人看護1	10月6日	北村愛子	急性期ケア推進室	専門看護師としての活動と現状
日本看護倫理学会 第3回年次大会	6月12日	北村愛子	急性期ケア推進室	ケアの質を高める倫理実践をめざして
日本糖尿病教育・看護学会	10月10日-11日	西村直美	8階山側病棟	高糖尿病患者への療養支援パート2

4) 院外講師

研修・セミナー	月日	講師	講演場所	テーマ
大阪府看護協会 短期研修	12月8日 1月12日	則村正文	大阪府看護協会 ナーシングアート	医療安全の基本と新人のおこしやうい事故防止
近畿感染管理ベストプラクティス研究会第5回セミナー	4月17日	川西史子	大阪国際交流センター	チェックリストによるチェックがうまくできない
認定看護師教育課程	5月7日	北村愛子	大阪府看護協会 桃谷センター	相談
大阪府看護協会 短期研修	7月14日	北村愛子	大阪府看護協会 ナーシングアート	みんなで考える 看護倫理
院内研修	6月18日 8月30日 11月26日 2月17日	北村愛子	慶応義塾大学病院	指導者の現状把握と指導

研修・セミナー	月日	講師	講演場所	テーマ
大阪府看護協会 短期研修	7月6日	川西史子	大阪府看護協会 ナーシングアート	組織で取り組む感染管理
院内研修	10月22日	川西史子	大阪脳神経外科病院	CVCの刺入部管理観察
認定看護師教育課程	11月18日	川西史子	日本看護協会 神戸研修センター	費用対効果やマーケティングに基づいた感染管理
院内研修	1月23日	藤原由子	大阪府立泉州救命 救急センター	災害外傷診療コース
大阪府実習指導者講習会	5月18日 2月1日	川西史子	大阪府看護協会 ナーシングアート	実習指導の原理(感染管理)
院内研修	2月	川西史子	医療法人仙養会 北摂総合病院	感染対策
施設研修	2月17日	高橋敏枝	大阪府砂川厚生福 祉センター	ス टीम研修
関西糖尿病療養指導・看護 研究会	2月26日	西村直美	独立行政法人労働 者健康福祉機構関 西労災病院	フットケアの実際
認定看護師教育課程	3月18日	川西史子	日本看護協会 神戸研修センター	感染管理

5) 看護学校講師

	氏名	講義内容	所属部署名	講義回数
泉佐野泉南医師会看護専門学校	三宅方子	運動器系疾病看護	5階海側病棟	5
	児嶋洋巳	消化器系疾病看護(内科)	8階山側病棟	3
	高木良子	消化器系疾病看護(外科)	8階海側病棟	3
	西村直美	内分泌・代謝疾病看護	8階山側病棟	3
	児嶋洋巳	血液疾病看護	8階山側病棟	4
	山下真琴	周手術期にある対象の看護	手術室	1
久米田看護専門学校	東山巳奈子	母性臨床看護論Ⅱ	6階山側病棟	3
	大東千晃	母性看護学特論	6階山側病棟	5
神戸看護大学	北村愛子	コンサルテーション論	急性期ケア推進室	1
慶応義塾大学 看護医療学部	北村愛子	クリティカルケア看護の専門看護師としての看護実践の展開	急性期ケア推進室	1
大阪府立大学	中村美乃生	運動生理学	ICU・CCU	7
泉佐野泉南医師会看護専門学校	川島孝太	ICU看護	ICU・CCU	3
	小城千絵	脳神経系疾病看護	5階海側病棟	5
	川西史子	感染症・アレルギー看護	看護管理室	2

6) 投稿・著書

雑誌名・著書	年・Vol	投稿者	領域	テーマ
呼吸器ケア	2010年 第8巻9号	藤原由子	救急看護	気管挿管介助